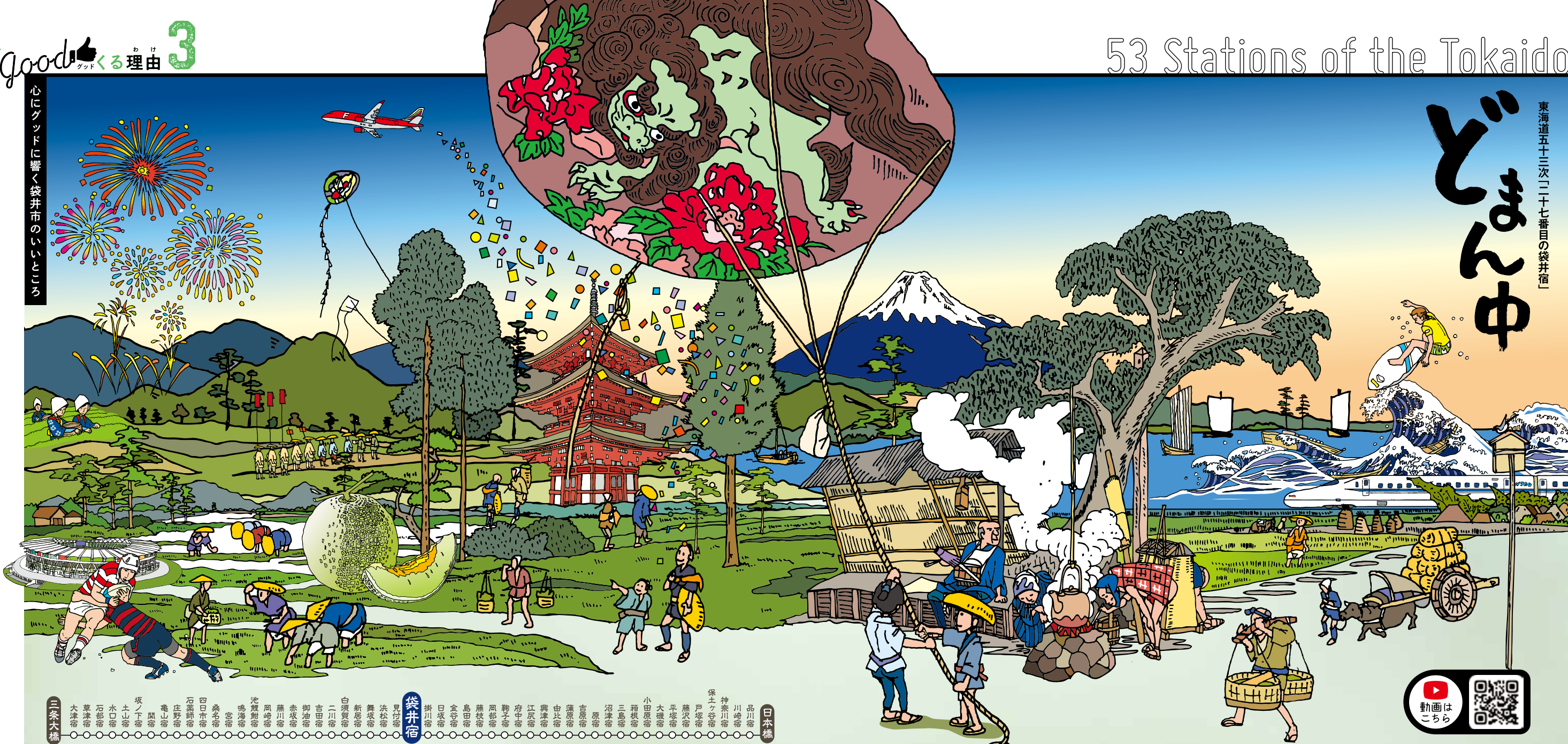


心にグッドに響く袋井市のいいところ



どまん中

東海道五十三次二十七番目の袋井宿



- 日本橋 品川 川崎 神奈川 保土ヶ谷 戸塚 藤沢 平塚 大磯 箱根 三島 沼津 原 吉原 蒲原 由比 興津 江尻 府中 韮崎 岡部 藤枝 島田 金谷 日坂 掛川 袋井 見付 淡路 新居 白須賀 吉田 御油 赤坂 岡崎 池田 鳴海 桑名 四日市 石巻 庄野 亀山 坂ノ下 土山 水口 石部 草津 大津 三條大橋

旧東海道の“ちょうどまん中”にある宿場町

どまん中袋井



袋井宿開設四百年記念祭 300人時代絵巻パレード



道の両端に今も残る旧東海道の松並木を抜け、街の中心部に足を運べば、「東海道五十三次袋井出茶屋ノ図」をモチーフにした「東海道どまん中茶屋」がお出迎え。宿場町「袋井宿」の当時の光景を思わせてくれます。



袋井宿は東海道五十三次の宿場で、江戸から数えても京から数えても27番目の中間点、東海道のちょうど真ん中（「どまん中」）にあった宿場町です。本陣3軒、旅籠50軒が連なり、諸大名の参勤交代をはじめ、商人や歴史ある寺社の参拝客などでにぎわいました。多くの人々が往来する交通の要所として栄えてきたことは、今も昔も変わりません。

